

令和6年度 国民健康保険事業費納付金

仮算定

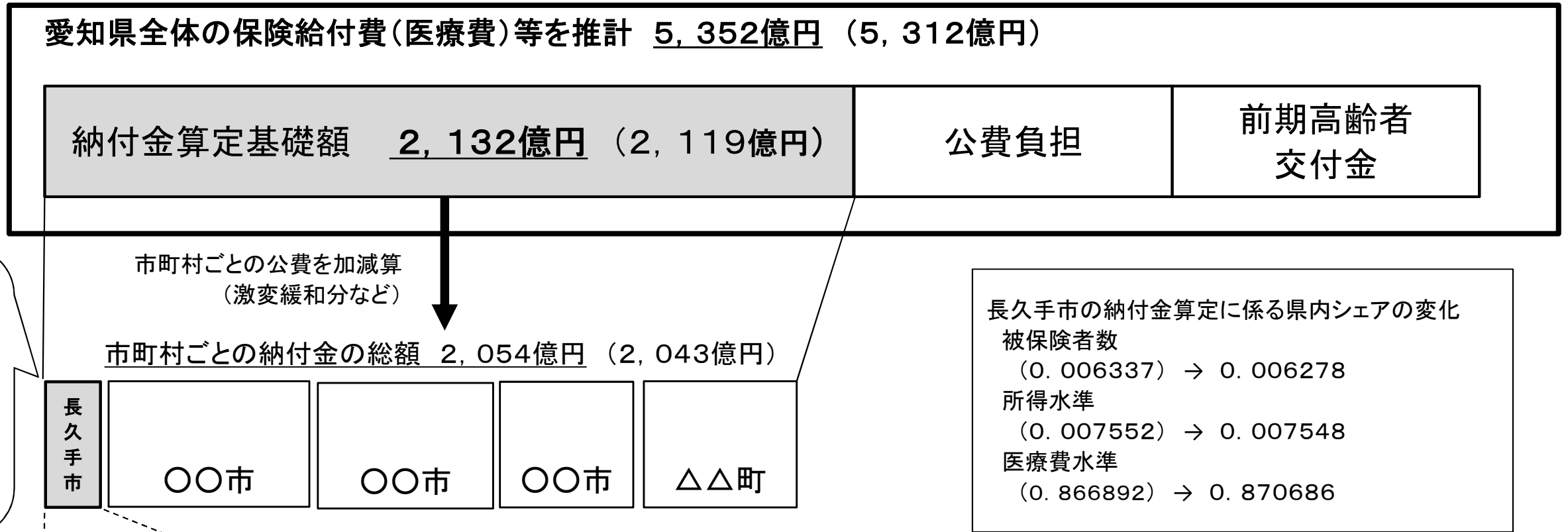
★納付金の本算定は、1月中旬頃に県から提示される予定

資料 1

()内は令和5年度の額

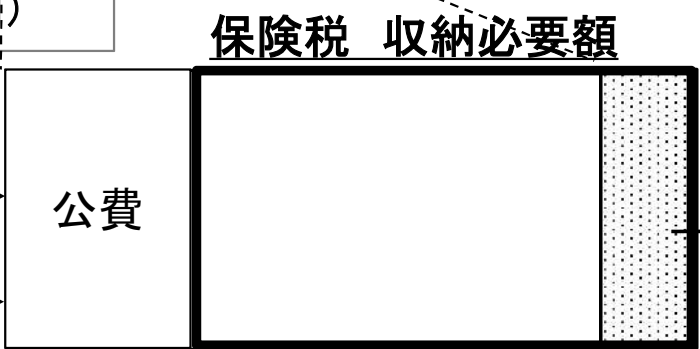
県全体で、保険給付費等を推計し、公費等を加減算して、市町村に割り振る納付金の総額を算出

市町村ごとの「被保険者数」と「所得水準」で按分し、それぞれに「医療費水準」を反映することで、長久手市の納付金の額を算定



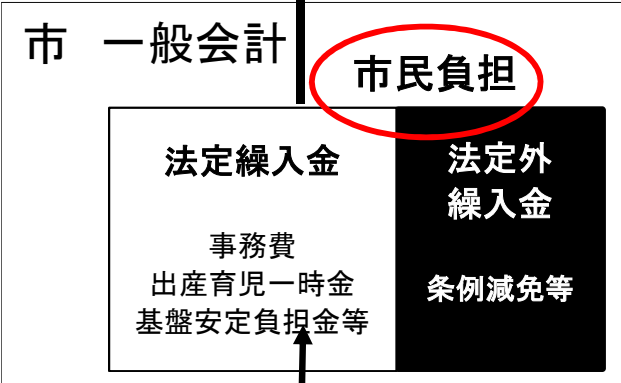
納付金 **14億9万円**
(14億483万円)

県交付金

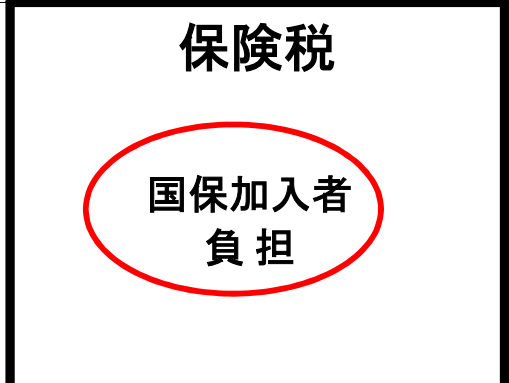


納付金の支払や保健事業等の実施に必要な保険税収納額

保健事業費、出産育児一時金、葬祭費など保険税で賄う給付



市民負担



市町村標準保険料率を参考にして、市の条例で保険税率を決定、賦課・徴収する

国・県負担金

令和6年度納付金算定について

- 令和5年度医療費の実績が納付金算定時の見込を上回っており、不足額を決算剰余金でまかなう予定である。このため、令和6年度には決算剰余金が残らず、納付金の減算にあてることができない。
- 1人あたり保険給付費について、令和4年度以降増加が続いており、令和5年度の見込みも極めて高い伸び率を示している。この傾向は令和6年度においても同様であると推計されている。